

水郷佐原 あやめパーク

SUIGO SAWARA AYAME PARK

水郷佐原あやめパークは、水郷筑波国定公園内に位置し、約8ヘクタールのパークには島や橋、水面などを配置し昔懐かしい水郷の情緒が味わえます。

『あやめ祭り』では江戸・肥後・伊勢系など400品種150万本のハナショウブが咲き乱れ、嫁入り舟や佐原囃子の下座舟など、様々なイベントが行われます。

また7月から8月にかけては『はす祭り』が行われ、300品種以上のハスが鑑賞できます。

ハス回廊

あやめパークでは300品種のハスを栽培しています。暑さが本番を迎える夏の時期が、一番綺麗な花を咲かせます。花の中にもう一つの花を咲かせたように見える重台蓮、八重絞りの大洒錦といった日本では数少ない貴重な品種が栽培されています。



ハスの見ごろは早朝がお奨めです。

- 1日目: 早朝ほんの少し開き昼頃には花を閉じます。
- 2日目: 早朝から開き始め、綺麗な満開の花を咲かせ昼頃には花を閉じます。
- 3日目: 早朝から開き始め最大に開花します。昼頃閉じ始めそのまま夜を迎えます。
- 4日目: 朝完全に開ききります。夕方に向けて全ての花は散ります。



結の島

水郷佐原あやめ祭りの風物詩である嫁入り舟の際には結の島にて結婚式が執り行われます。香取神宮の神官を招き、ハナショウブに囲まれるなか新郎新婦が結ばれることから『結の島』と呼ばれています。



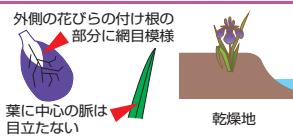
5月上旬になると藤の花が見ごろを迎え、園内は藤の優しい香りに包まれます。園内入口近くにある長さ70メートルにも及ぶ藤のトンネルは幸せの道として注目を集めています。



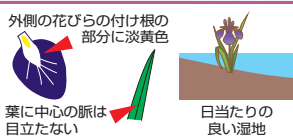
いずれアヤメかカキツバタ

美女ばかり大勢いて見極めのつかない状態を表現したことわざです。アヤメ、カキツバタ、ハナショウブは互いによく似ていますが次のような特徴で区分されます。

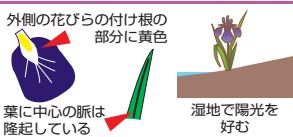
アヤメ



カキツバタ



ハナショウブ



旭丸(伊勢系) 蜚舟(肥後系) 八咫の鏡(江戸系)

舞扇(肥後系)

絆(江戸系)